

祝 市交通安全協会 鎌田哲彰さん
交通栄誉章「緑十字銀章」を受賞

江田島市交通安全協会能美支部長の鎌田哲彰さんが、交通栄誉章「緑十字銀章」を受賞されました。

2月16日に江田島警察署で表彰伝達式が行われ、松原江田島警察署長から賞状が手渡されました。また、奥様の素子さんへ登地江田島市交通安全協会副会長から感謝状が手渡されました。

交通栄誉章「緑十字銀章」は、多年にわたり交通安全活動に尽力し、卓越した功績のあった交通安全功労者に贈られます。



祝 長年にわたる戦没者遺族に対する援護に貢献
令和7年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰伝達式

広島県庁で、令和7年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰伝達式が執り行われ、御堂岡勝敏さんが表彰されました。この表彰は、多年にわたり戦没者遺族等の援護事業に携わり、功績が顕著な方に対し、その功績を称えとともに、その労苦に報いるため厚生労働省が行うものです。

伝達式には、広島県遺族会会長や関係者が出席し、御堂岡さんのこれまでの歩みや功績を称賛する言葉が寄せられました。



▲表彰された御堂岡さん（前列中央）

2/20 有名シェフ監修のエクストラバージンオリーブオイル
株エテが大柿中にオリーブオイルを贈呈

世界的なシェフ（株）エテ庄司夏子シェフ監修のリベラグループ製（株）のオリーブオイルとオリーブポークを使用したクリームシチューが大柿中学校に贈呈されました。

贈呈式ではリベラグループ（株）濱田農業事業本部長から大柿中学校生徒にオリーブオイルが贈呈され、併せて特別授業が行われました。贈呈されたオリーブオイルは、給食や大柿中学校の調理実習等で使用されます。

（株）エテは、庄司シェフの「収益は地元に還元したい」との思いから、昨年の大古小学校での贈呈に続き2年連続で実施されました。



2/21 おいしくな～れ！おいしくな～れ！
絵本に出てくるおやつを作ってみよう！

江田島図書館と保健医療課が食育体験事業の取り組みとして、絵本「ぐりとぐら」と「クッキーしろくま」に登場するおやつ作りを行いました。

参加した13組の親子は、絵本の読み聞かせの後に、絵本と同じように、フライパンでカステラを焼いたり、クッキーにチョコペンでデコレーションしたりと楽しみました。

調理室には甘い香りが広がり、まるで絵本の世界にいるかのような楽しいひとときとなりました。



2/25 災害時における無人航空機（ドローン）を活用した
協力に関する協定締結

本市と中電工業株式会社との間で災害時における無人航空機（ドローン）を活用した協力に関する協定を締結しました。

本協定は、平時・災害時に無人航空機（ドローン）を活用し、防災訓練や発災直後の被災箇所の空撮や生活必需品等の救援物資を空輸するなど、迅速な対応が可能になります。



2/13 大柿高×ひがしひろしまフリーコーヒー×柿高 Fly
広大生と柿高生がコーヒー提供

広島大学のボランティア「ひがしひろしまフリーコーヒー」の学生3名が大柿高校前交差点広場で自由珈琲（無料カフェ）を開催しました。

『柿高Fly（大柿高校市民サポーター）』の呼びかけで、大柿高校3年生は午前11時から、1・2年生は昼休みに参加しました。広大生に習って一杯ずつハンドドリップしたホットコーヒーに、市民からは「ありがとう！おいしい！」と喜びの声が続きました。

2時間半で約100杯が提供され、街角はよい香りに包まれました。みかん坊やとえたぼうがこども園の園児達とふれあう場面や、技能実習生の参加もあり、冬晴れの街に交流の笑顔が広がりました。



江田島動物病院
☎ 090-8142-4107

往診料
無料

お電話一本で自宅までお伺いします。
（往診車の中でも診察可能です。）
■ ワクチン・フィラリア予防
■ 点滴・お薬の処方など
お気軽にご相談下さい。

※基本的に獣医師が1人でお伺いしますので、飼い主様にお手伝いをお願いしています。

フィラリア予防
狂犬病予防接種の
季節が始まります！



広告

獣医師 福田 健

NEW! ETADEN

エタジマの暮らしを
電気の力でもっと快適に。

ETADEN エタデン 江田島 検索

照明器具取付 | エアコン設置 | 電球交換 | コンセント増設 | ほか | ☎ 090-4656-2772

お気軽にご相談ください！
代表 向井

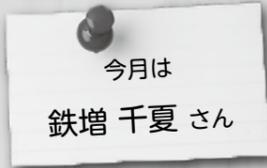
つむぐ通信

シリーズ連載 その118

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

国際交流支援員	大方 芳恵
観光事業総合プランナー	山田 京子
オーブブランドクリエイター	鉄増 千夏
里海コーディネーター	向井 綾香



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊

【2026年の挑戦①】
持続可能なボランティア体制づくり
これまで市内外から多くの方に助けられてきた収穫作業。2026年はさらに一歩進み、地域おこし協力隊として「持続的に参加できる収穫体制」を模索します。

参加費徴収型モデルの検討など、一人の栽培者としての視点も活かしながら、皆様と新しい形を作っていきたいと考えています。収穫ボランティアに

【2025年の振り返り】
出会いと学びの1年
着任1年目の昨年は、オーブ振興室での業務や知識を深める活動を通じて、多くの栽培者さんや地元の皆様と出会うことができました。お話しする中で、収穫作業の大変さや剪定枝の処分に関するお悩みなど、現場のリアルな声を伺えたことは、私にとって大きな財産です。

こんにちは。地域おこし協力隊オーブブランドクリエイターの鉄増千夏です。

2025年度、江田島市のオーブは「収穫してもしても終わらない！」という嬉しい悲鳴が上がるほどの豊作に恵まれ、過去最高となる約17・5トンの収穫量を記録しました。栽培者の皆様、加工に携わった皆様、本当にお疲れ様でした。江田島市自慢のフレッシュなオーブオイル、ぜひ大切な方への土産にご活用ください！

【2026年の挑戦②】
江田島市ならではの「新商品開発」
今年度から本格始動するのが「新商品開発」です。小豆島や高松での事例を参考に、「今の江田島市に本当に必要なものは何か」を考え、地域の皆様の協力をいただきながら開発・提案を進めていきます。まずはオーブの葉や完熟果実の活用から着手する予定です。島内で飲食店や販売をされている皆様、ぜひ一緒に新しい名産品作りに挑戦しませんか？

【2026年の挑戦③】
江田島市ならではの「新商品開発」
今年度から本格始動するのが「新商品開発」です。小豆島や高松での事例を参考に、「今の江田島市に本当に必要なものは何か」を考え、地域の皆様の協力をいただきながら開発・提案を進めていきます。まずはオーブの葉や完熟果実の活用から着手する予定です。島内で飲食店や販売をされている皆様、ぜひ一緒に新しい名産品作りに挑戦しませんか？



お問い合わせ
農林水産課オーブ振興室
0823-43-1643
メール olive@city.etajima.lg.jp

江田島市は、美しい自然と温かな人たちに彩られた、本当に素敵な島だと日々感じています。この島に眠る魅力を再発見し、大切な宝物を次世代へと繋いでいけるよう、皆様と手を取り合せて、一歩ずつ丁寧に進んでいけたら幸いです。

地域おこし協力隊2年目も、どうぞ温かく見守ってください。これからも、よろしくお願いたします！

興味のある方は、ぜひお気軽にオーブ振興室までご連絡ください！

めて取り組んでいきたいと思っています。

3 8月 スポーツを通じた交流事業 第5回E I F Aスポーツ交流会

スポーツセンター・能美中学校グラウンドにおいて、「第5回E I F Aスポーツ交流会」が開催されました。

毎年外国人市民と日本人市民の交流事業として実施しており、サッカーとバドミントンでともに汗を流す貴重な機会となりました。

特にサッカーでは、初心者や経験者も関係なく、ときには熱くなるシーンもありましたが、笑顔で握手することで交流を図ることができました。



2 8日~11日 海ごみ妖怪がやってきた 第2回えたじま未来の海づくり展

第2回えたじま未来の海づくり展～海ごみ妖怪がやってくる～ゆめタウン江田島店で開催しました。

ビーチクリーンで回収したごみを使い、地元の園児や小学生が制作した「海ごみ妖怪」の展示や漂着ごみ展示、企業・団体の取り組み紹介を実施しました。最終日にはトークイベントが実施され、4日間で延べ297名の来場がありました。

参加していただいた方からは、「ビーチクリーンに参加したい」「環境に配慮した生活を心がけたい」などの感想が寄せられました。



マイ広報紙で広報えたじまが見れます！

毎月発行の「広報えたじま」をデジタル版で見ることができます。多言語翻訳や音声読み上げ機能があり、見やすくなっております！※音声読み上げ機能は令和7年5月号以降利用できます。

左のQRコードを読み取るか、マイ広報紙 江田島市 で検索してください。